



第12回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2015年12月6日
 編集 全国水環境マップ実行委員会事務局
 発行 全国水環境マップ実行委員会
 発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局
 問合せ先 全国水環境マップ実行委員会事務局
 みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)
 〒185-0021 東京都分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
 みずとみどり研究会気付
 TEL/FAX : 042-327-3169
 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp
 URL : http://www.japan-mizumap.org
 発行部数 6,000部



本調査は公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。



第12回 2015

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第12回 調査結果概要 2015

目次

調査の背景	P.1		
調査の実施手法	P.2		
調査結果の概要	P.3		
全国一斉調査諸データの推移	P.4		
2015 全国水環境マップ 第12回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5		
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6		
各ブロックでの調査結果	P.7		
北海道地方	P.7	近畿地方	P.12
東北地方	P.8	中国地方	P.13
北陸地方	P.9	四国地方	P.14
関東地方	P.10	九州・沖縄地方	P.15
中部地方	P.11		
一斉調査結果の活用事例紹介	P.16		
継続調査参加団体	P.19		
全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20		
身近な水環境を調べよう! 第13回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21		
第13回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22		

「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

後援 国土交通省 環境省

印刷 エキノックス



I 調査の背景

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。

【身近な水環境の全国一斉調査のはじまりと10年間のまとめが一冊の本になりました。】

調査を実施するようになった社会的背景からどのようにして全国一斉調査がはじまったのか。そして、どのように全国に広まったのか。これまでのデータのまとめも含めて身近な水環境の全国一斉調査が一冊の本になりました。身近な水環境の全国一斉調査10年の歩みがわかる「見る 知る 調べる水」((有)全国環境研究会誌事務局 発行：2015年)は全国水環境マップ実行委員会事務局から定価1,500円(税込)送料別で販売中です。



「身近な水環境の全国一斉調査」は2004年6月に開始され、12年間で延べ85,700人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ63,800地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義 ~自分たちで調べて、環境保全につなげよう~

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる(行政による水質調査結果の公表はおよそ1年後である)。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

II 調査の実施手法

調査の概要

調査日：2015年6月7日(日)を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会(委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授)』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストでCODを測定。

調査項目

気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と3種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストでCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

COD(化学的酸素要求量)

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査も同一のロット番号(製造番号)のパックテストを用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

採水

雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。

より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。

調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

CODの測定

試水の水温を測定し反応時間を決定します。

添付の操作手順書に従い測定します。

反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。

同じ試水で3回測定します。



III 調査結果の概要

調べてわかる 身近な水辺

今年の参加者総数は9,500人を超えました

6月5日の世界環境デーに近い日曜日を全国一斉調査日として多くの方に呼び掛けをして市民団体、行政、学校、家族、企業など様々な立場で身近な水辺を調べるこの調査で、今年は9,500名を超える方達が参加しました。これは調査キット送付時に同封している「参加記入票」の参加者数の回答を積算したもので、今年は本調査参加人数を実数値に近づけるために参加記入票の添付忘れがあった団体には再度提出をお願いしての集計結果となりました。それでもまだ8割弱の回収率ですので1万人近くがこの調査に参加しているのではないかと予想されます。多くの方が身近な水辺に関心を持って人にとっても生きものにとっても良い水辺となるようになることを期待したいです。

全国統一日

調査日 2015年6月7日(日)
参加団体数 428団体(個人参加含む)
調査地点数 2,749地点

調査総数(全国)

期間 2015年5月9日～7月20日まで
参加団体数 771団体[参考:第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体、第7回 913団体、第8回 885団体、第9回 926団体、第10回 865団体、第11回 792団体]
地点総数 5,842地点[参考:第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回 4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点、第7回 5,909地点、第8回 5,653地点、第9回 5,581地点、第10回 5,421地点、第11回 5,544地点]
8月に実施した調査結果を送っていただいた団体もありますが、これらは参考データとさせていただきます。

調査地点(海外)

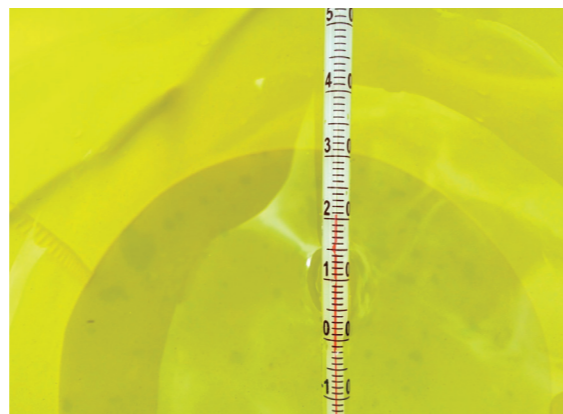
韓国 1団体 6地点

調査のまとめ

今年は国内では771団体、5,842地点、韓国では1団体(大学)、6地点調査が実施されました。今年は全国的によい天気恵まれたところが多かったようです。

本調査も12年目ですので、参加者からは「高齢になり多くの地点を実施するのが難しくなった」などのコメントも寄せられるようになりました。参加者の皆さまには無理のない範囲で実施をしていただきたく思います。

CODの水質結果では、全国のデータの割合がCOD 0～3mgO/L未満が37%、3～6mgO/L未満が37%、6mgO/L以上が26%となりました。この結果は定点調査された水質結果だけに基づくものではありません。新規参加者の調査地点や従来の調査地点から変更したのものも含めています。全国版の結果ではこのようになりますが、地域ごと、流域ごとにまとめてみると傾向が表れてくるのではないのでしょうか。事務局にも多摩川の支流の浅川や長野県内の水質をまとめたマップなどが送られてきています。データは本調査のホームページに公開していますのでいつでもご利用ください。



全国一斉調査諸データの推移

年別 参加団体及び調査地点集計結果

作成: 全国水環境マップ実行委員会

都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年	
	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1 北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131	24	131
2 青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16	6	19
3 岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23	4	12
4 宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27	6	25
5 秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6	2	7
6 山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54	2	52
7 福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42	7	78
8 茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295	43	305
9 栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11	5	10
10 群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121	9	76
11 埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468	63	486
12 千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133	18	111
13 東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651	106	681
14 神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378	39	374
15 新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317	28	318
16 富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15	4	12
17 石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7	2	7
18 福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47	4	46
19 山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171	40	208
20 長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289	25	380
21 岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40	15	101
22 静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25	10	34
23 愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127	20	118
24 三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17	9	33
25 滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588	93	600
26 京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104	12	60
27 大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201	28	213
28 兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147	34	136
29 奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44	13	31
30 和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22	4	19
31 鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5	3	21
32 島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28	4	81
33 岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196	12	275
34 広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47	7	79
35 山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21	3	18
36 徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158	30	140
37 香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12	3	12
38 愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175	6	155
39 高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45	16	53
40 福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82	24	84
41 佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36	5	19
42 長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73	7	34
43 熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19	5	39
44 大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36	4	40
45 宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47	4	55
46 鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13	2	11
47 沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34	8	43
合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544	818	5,842
実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792		771	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。実団体数の数値が真値。

参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834	9,561
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186	2,026
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707	1,133
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838	6,305

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

一斉調査日実施状況

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
団体数	360	600	587	547	508	569	510	499	518	468	334	428
地点数	1,875	3,288	3,044	3,158	3,483	3,072	2,755	2,755	2,598	2,648	1,664	2,749

海外データ

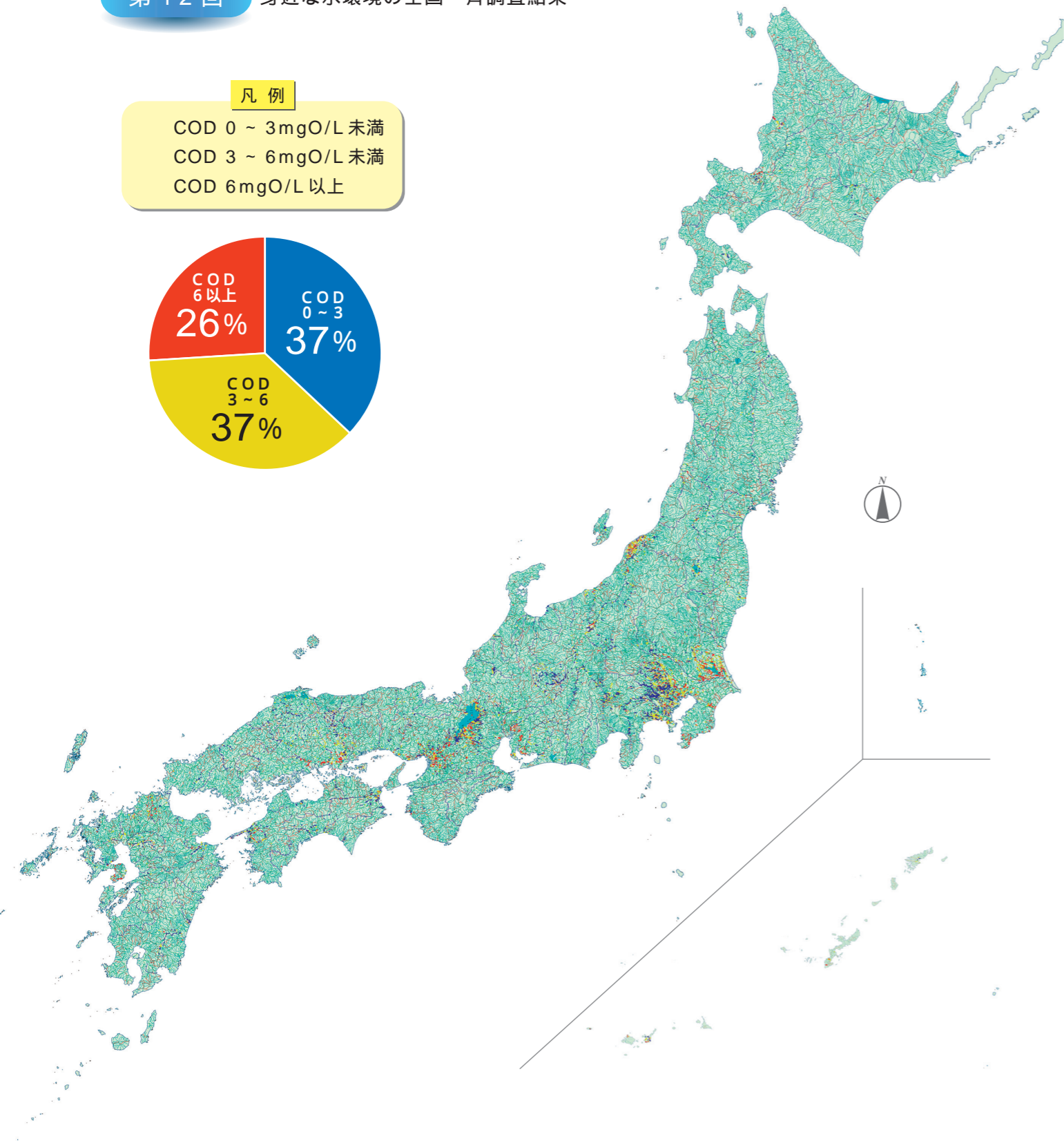
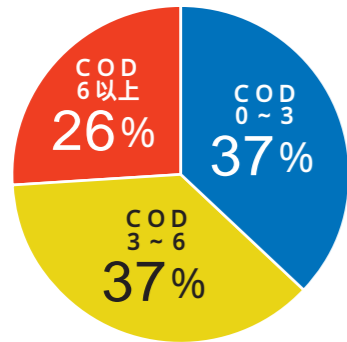
国名	2004年		2005年		2006	
----	-------	--	-------	--	------	--

2015全国水環境マップ

第12回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

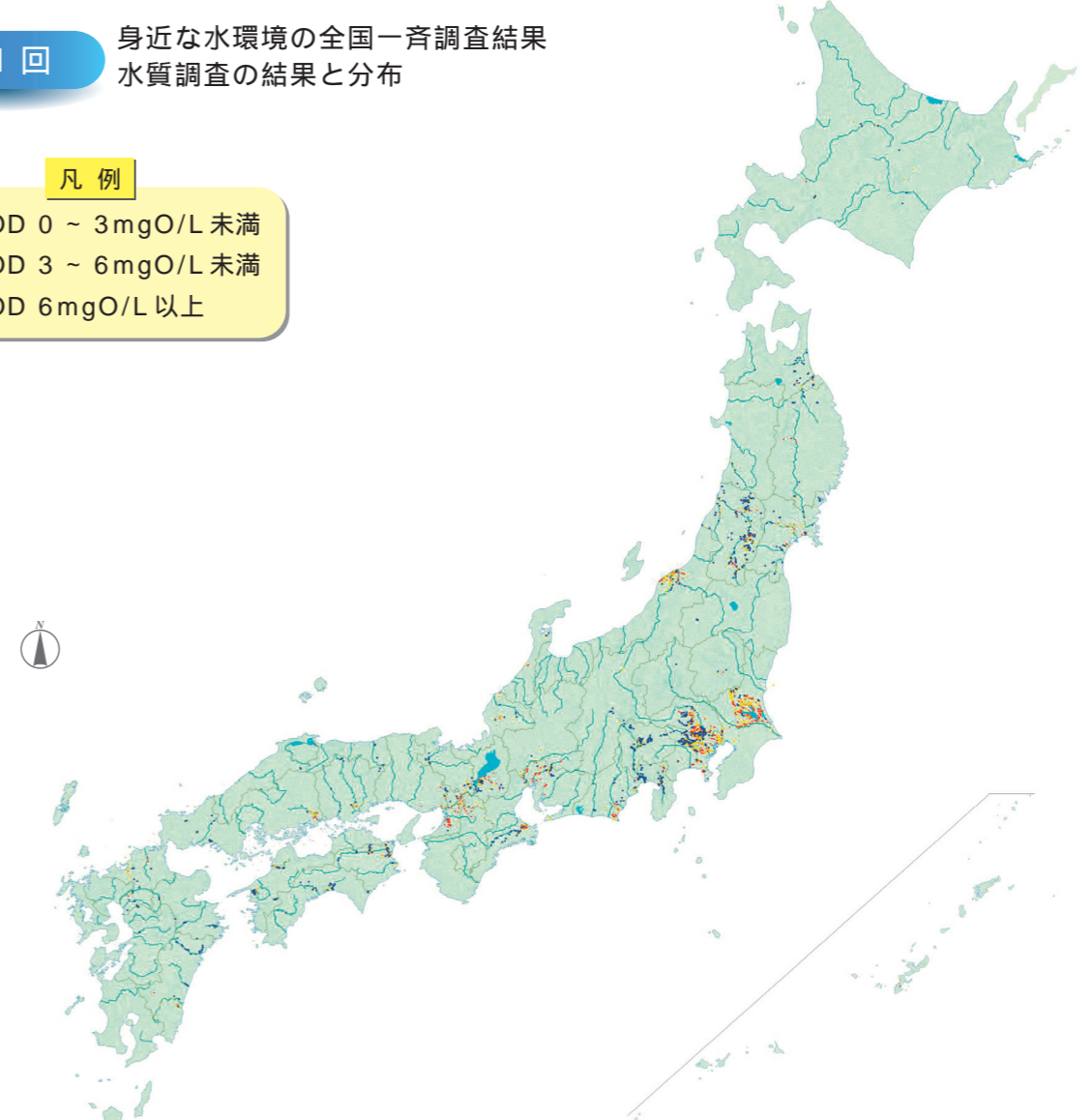


2004全国水環境マップ

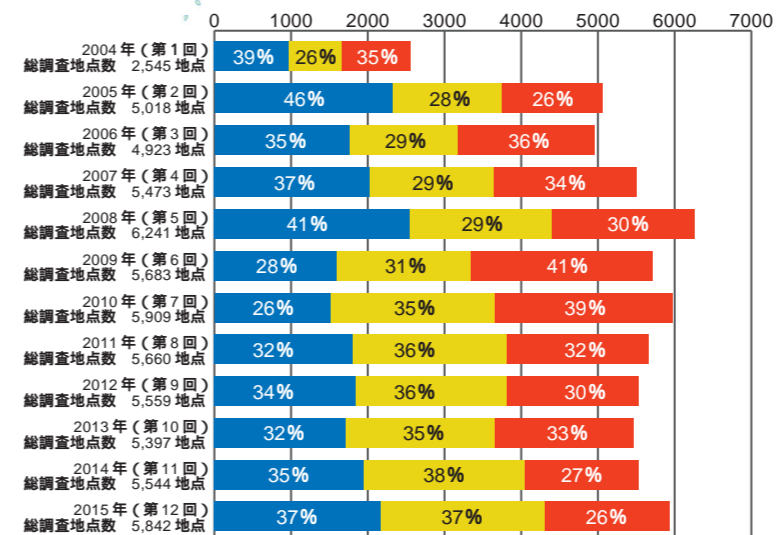
第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



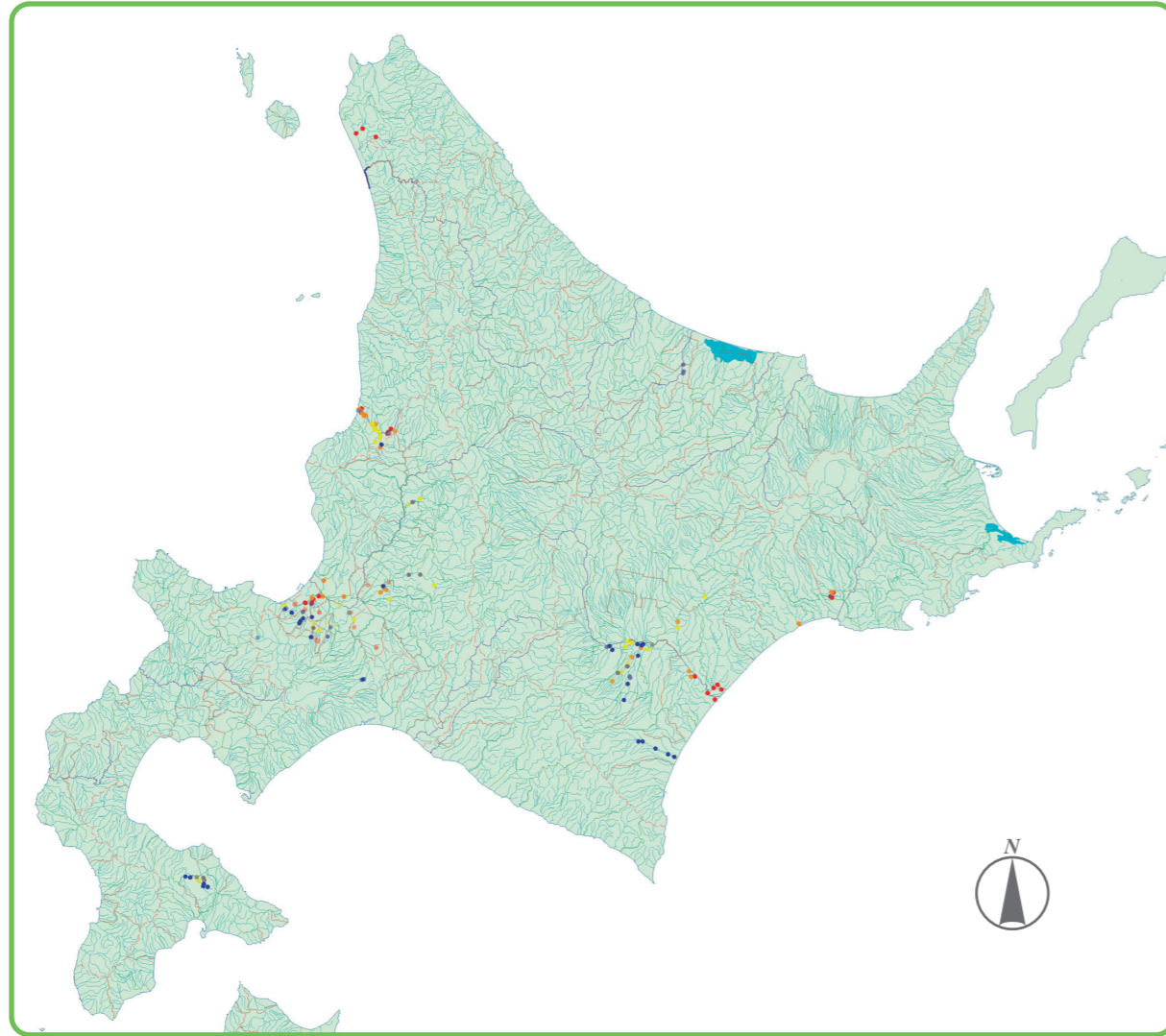
調査地点数と結果の推移



COD 0 ~ 3mgO/L 未満
COD 3 ~ 6mgO/L 未満
COD 6mgO/L 以上

IV 各ブロックでの調査結果

北海道地方

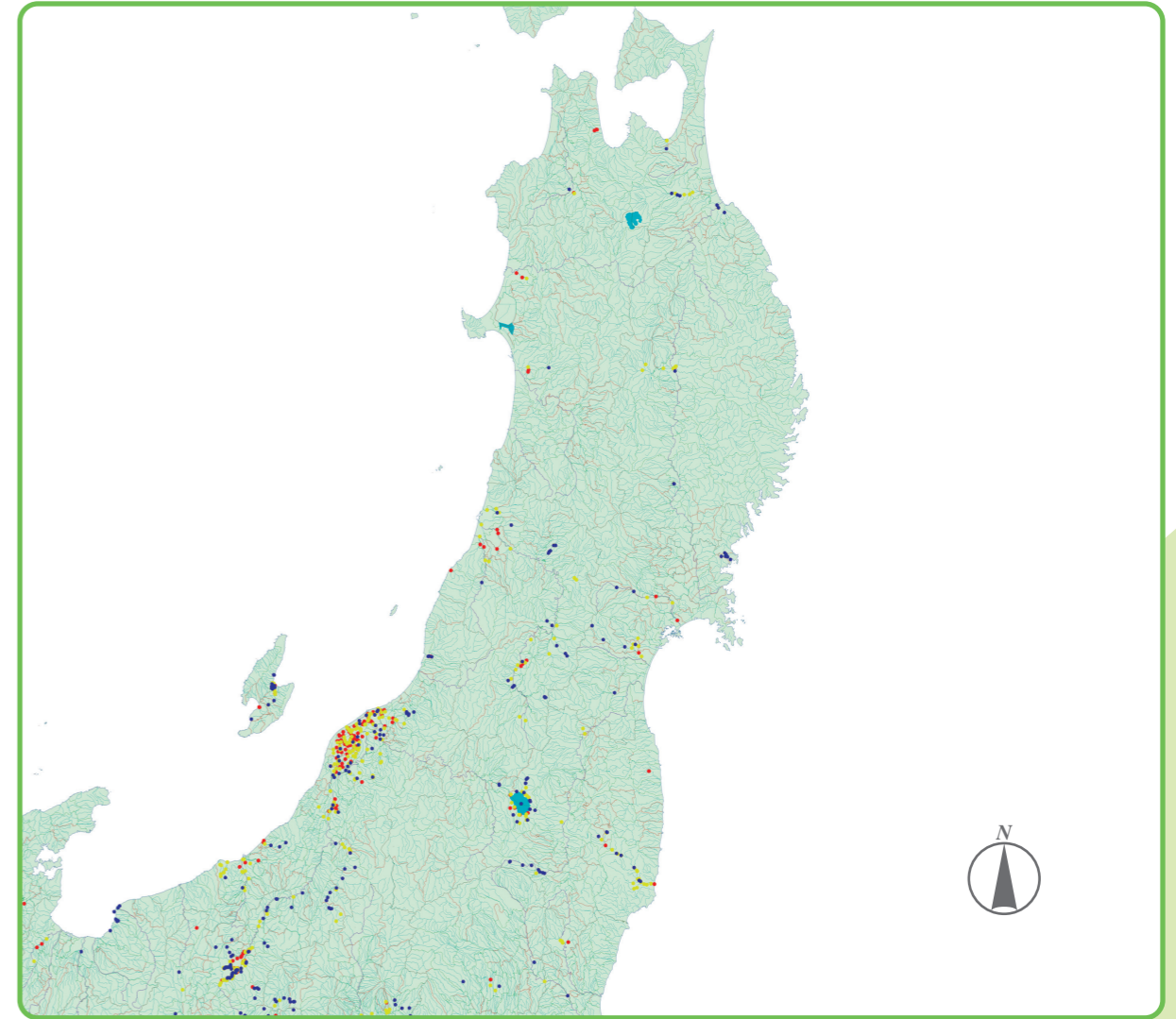


- 参加者からのコメント
- ・年数回、一過性で悪臭（尿尿臭）、濁りが認められる。
 - ・昨年は採水地点で工事のため上流で採水。今年は例年通りの地点で採水。
 - ・水透明（濁りなし）、河床は泥、湧水多い。団体がゴミ拾い実施中。
 - ・河床は砂泥、河岸は護岸。水草（バイカモ、エビモなど）河床を覆っている。河岸は草。



東北地方

凡例
 COD 0 ~ 3mgO/L 未満
 COD 3 ~ 6mgO/L 未満
 COD 6mgO/L 以上

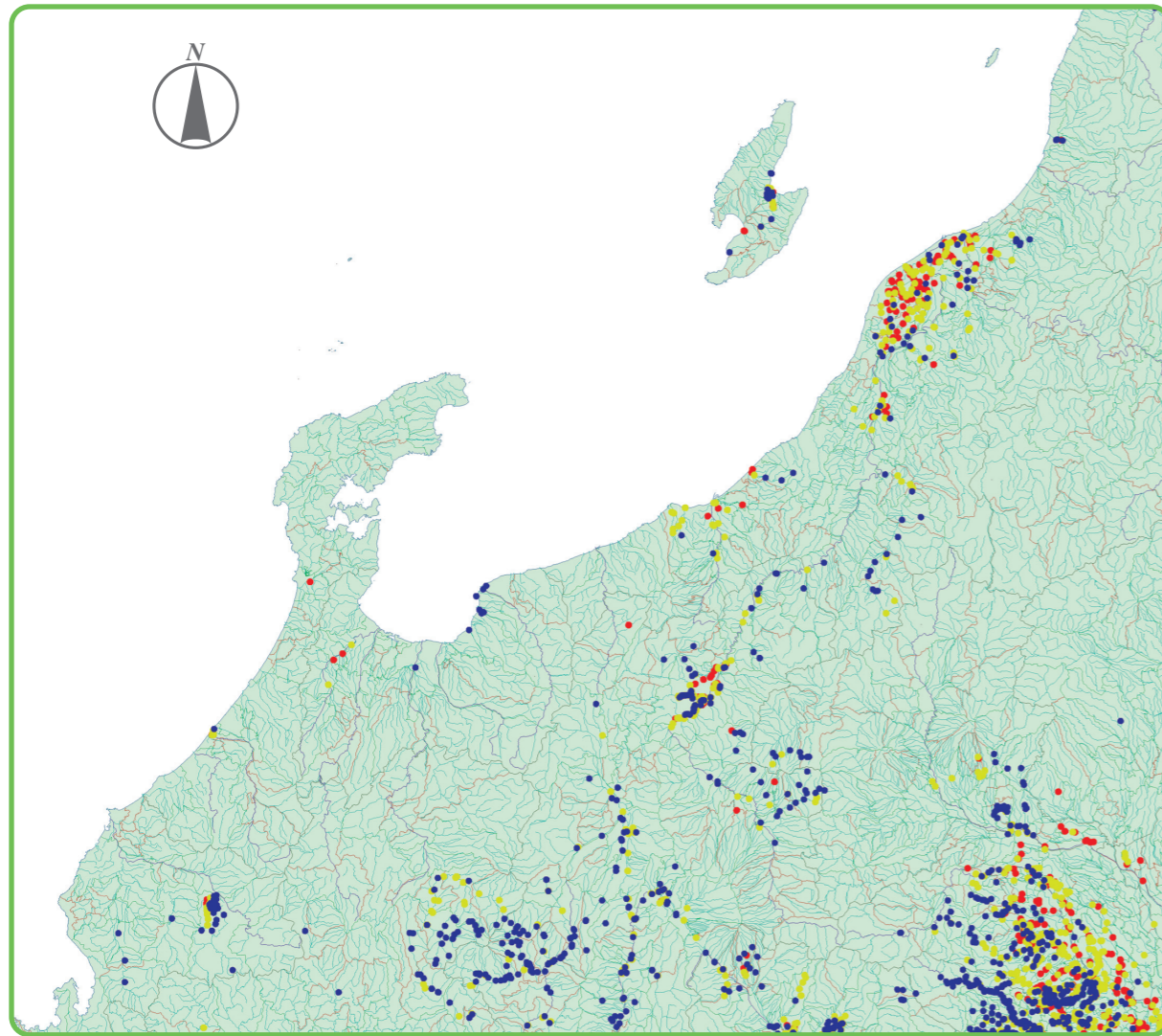


- 参加者からのコメント
- ・汚れている感じはあったが、付近に工場があるなど特筆した要因は見つかりませんでした。
 - ・ごみが多数あった。河原でバーベキューしている人、泳いでいる人もいた。
 - ・水量やや少なめだが、澄んでおり流れもあり。2~3年前までは小魚が多くみられたが昨年、今年と姿見えず。
 - ・川の両岸は住宅。ゴミは少ない。両岸の住宅地からの下水道は完備されている。



IV 各ブロックでの調査結果

北陸地方



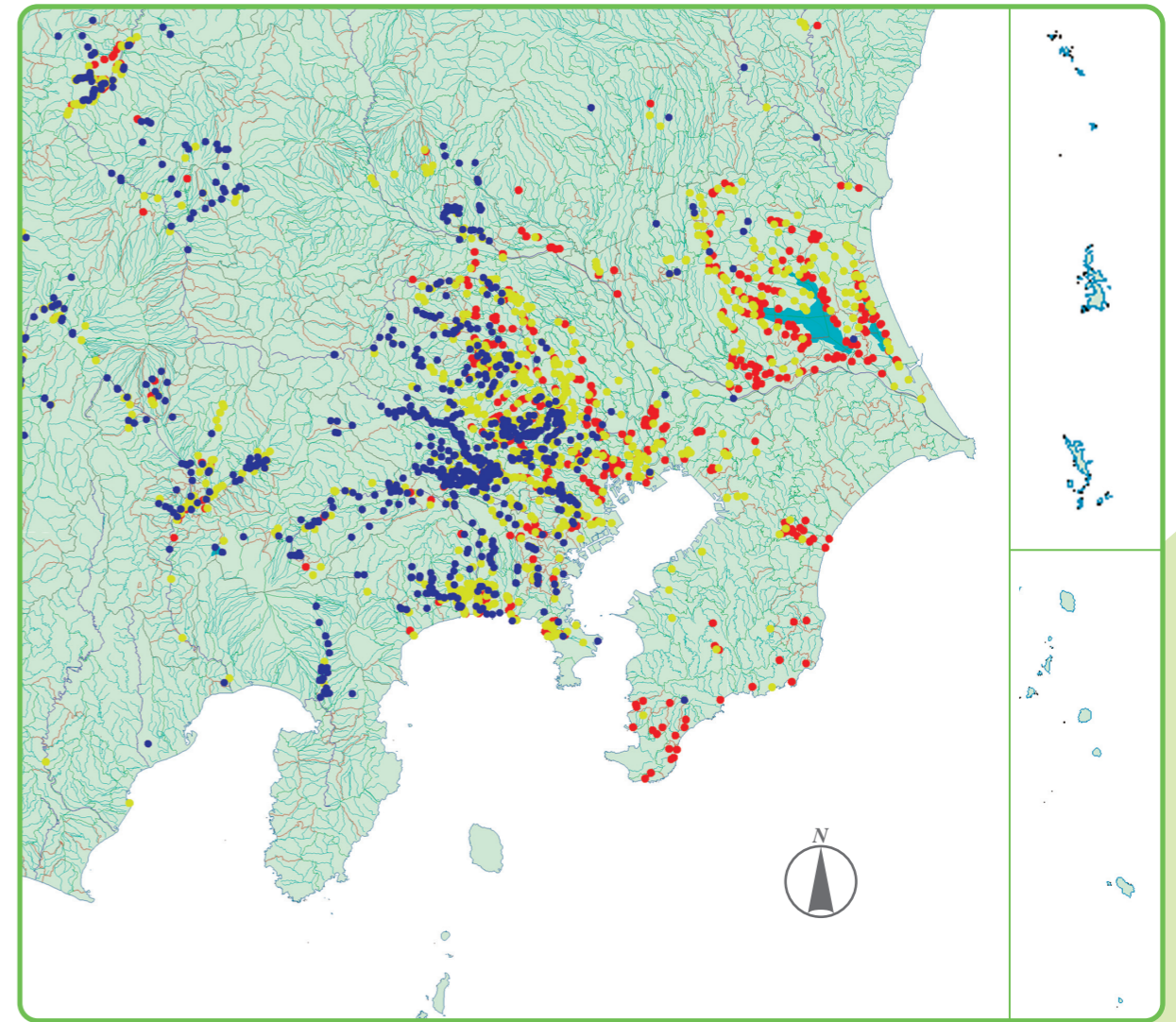
参加者からのコメント

- ・浮遊ゴミが流れている。水は少し濁っている。レジャー - ボ - トが多く通行する。
- ・水量は例年と変化はないが、晴天が続いているので多くはない。川幅は1~2m。1mくらいの大きさから20~30cmの岩石が多く、ゴミ等は全く見られない。
- ・水量少ない、泡が流れている、流れ緩やか、ゴミなし、カンボジアの研修生と出会い水の話をする。
- ・調査時は、増水なく通常状態で水きれい。約2年後にダム建設予定。



関東地方

- 凡例
- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
 - COD 3 ~ 6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上



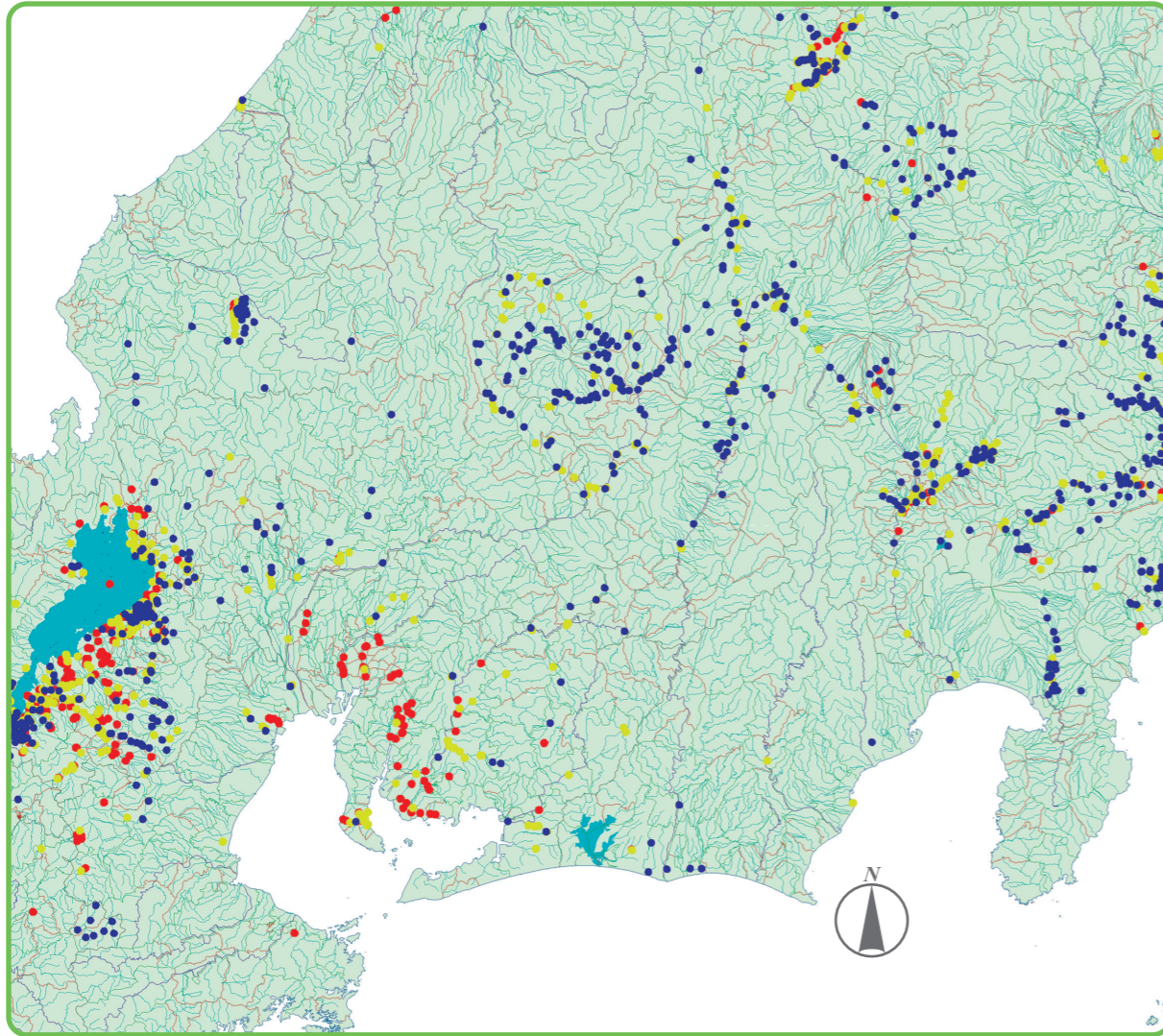
参加者からのコメント

- ・年々川の水はきれいになっているようであるが、川の水の量が少なくなると汚れが目立つようになるようである。
- ・川をきれいにしたいです。堰を造ったり、川の側面をコンクリートで固めたり・・・。魚が住みづらい環境となってしまっている。
- ・川の中央に水生植物や藻がみられ、ゴミや木の葉が多く、濁りやや強い。海の近くの河口のような臭い。流れはあるが、水量少ない。
- ・水位は去年の半分以下。水透明できれい。濁りもなし。小さな泡の固まりが少し流れていく。底の石も付着物ほとんどない。やや大きめの石には藻がついている。ごみもなし。



IV 各ブロックでの調査結果

中部地方



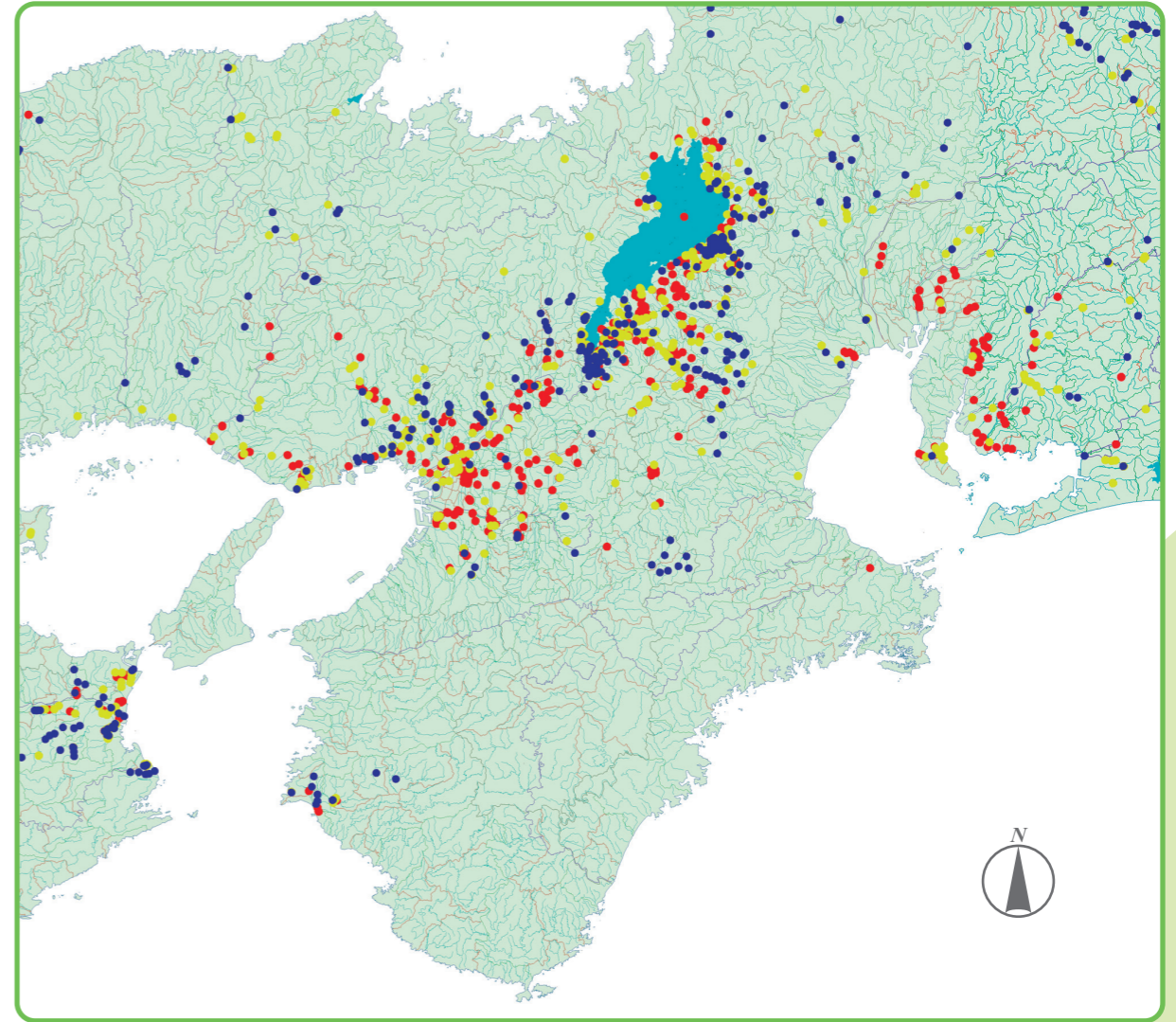
参加者からのコメント

- ・ごみなどなし。透明な流水。山間地の河川で清水ながらCODがややあるのは付近の生活排水、水田排水等考えられる。
- ・5月30日に10匹程のゲンジボタルを見た。15年間調査をされていて初めてホタルが発生した。
- ・COD値が少しあるのはダム湖による植物プランクトンによるように思われた。国交省の水質データも調べてみたい。
- ・ピーカー内の水の臭い、土、カビ臭いややあり。近所に住んでいる方のコメントでは水辺の環境が少しずつ改善されている。



近畿地方

凡例
 COD 0 ~ 3mgO/L 未満
 COD 3 ~ 6mgO/L 未満
 COD 6mgO/L 以上



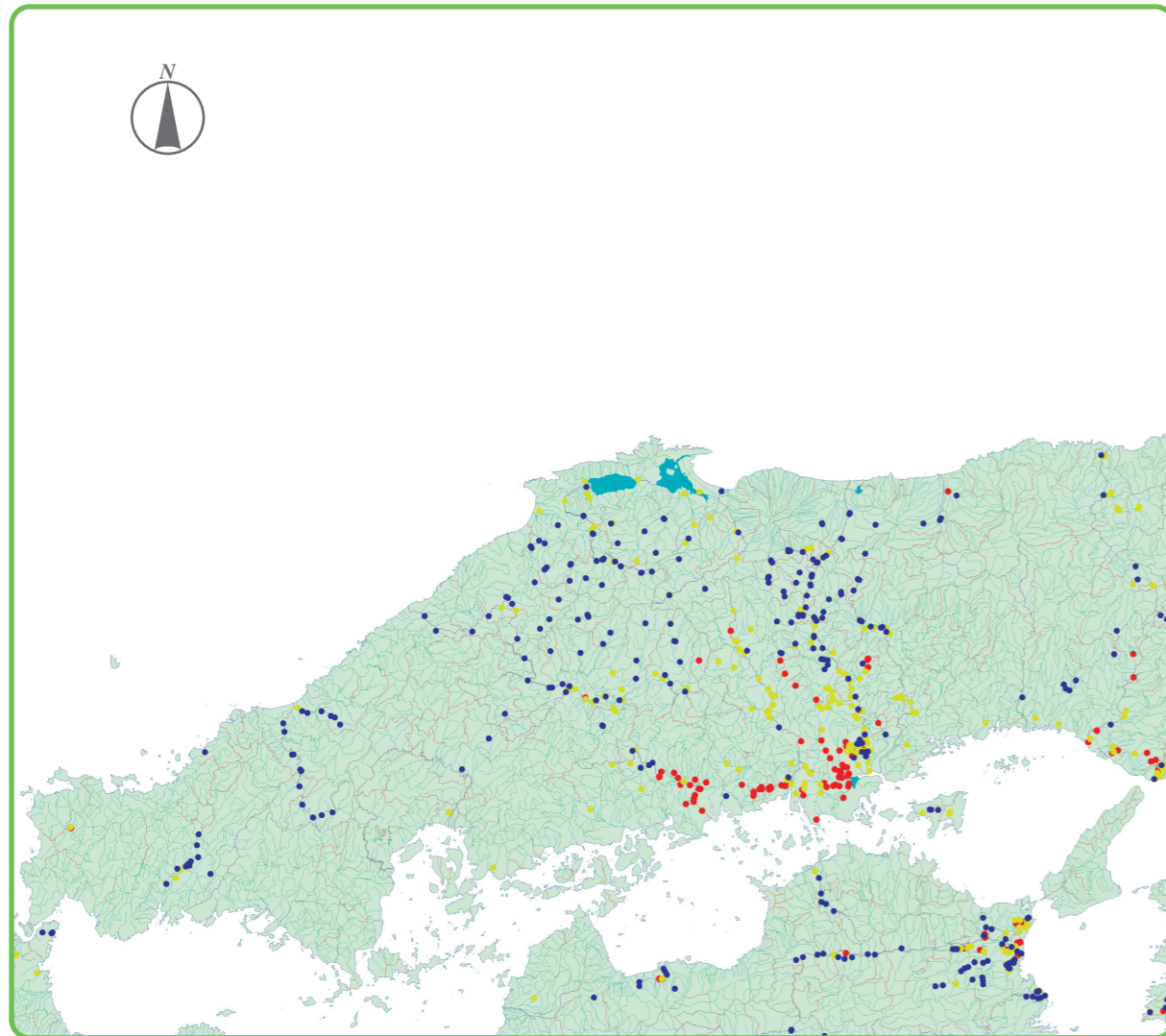
参加者からのコメント

- ・5月は雨が少なく水位が低い。昨年秋から直下流2カ所で砂防ダム工事中。
- ・下水道に接続されたが、それでも濁りあり。悪臭は以前よりましになった。川底の掃除ができていない。
- ・30年以上前より川は三面張りであり魚はほとんどいない。調査地点付近では下流200m余りに1.5m位の堰堤があるので水が多くないと魚は登れない。川の変化は80年くらい前と変わらない。砂防堰堤から下流95%三面張りの川です。
- ・昭和30年代は川ガキが多く遊ぶ、川遊びのメッカだったが、今は人がほとんど入れない。多様な生きものが今も多く、鳥類が多くみられる。



IV 各ブロックでの調査結果

中国地方



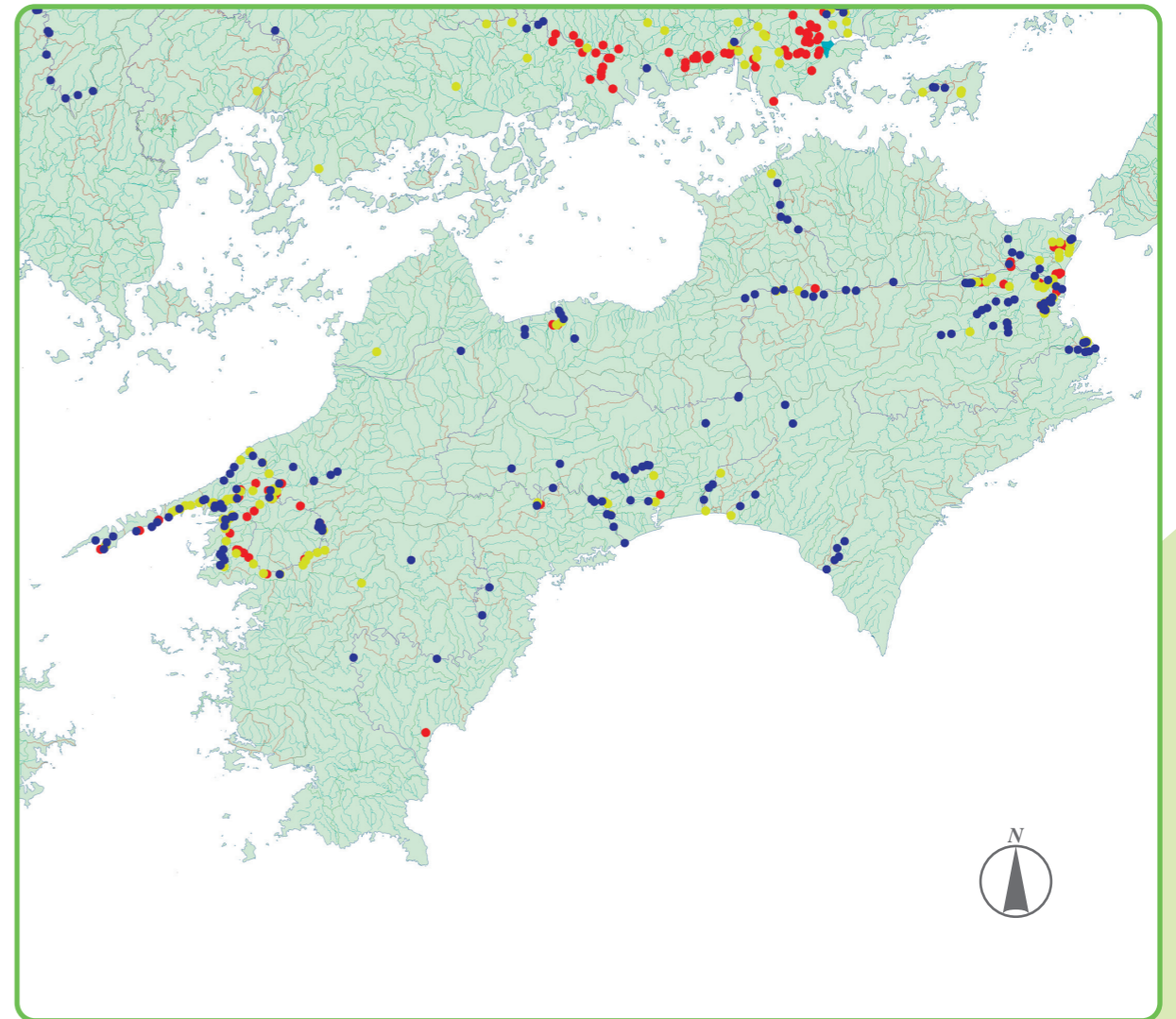
参加者からのコメント

- ・近年、水質は別として透明度が上がってきている。
- ・水辺はコンクリート護岸。流れ、なし。濁りあり（水底は見えない）。ゴミあり。ミシシippアカミミガメが増えた。
- ・10年くらい前に補そう。それまではハヤ、ウナギとかがいた。
- ・前日の雨のため少し濁りあり。昔よりホタルが多くいたが最近か少し減少した様子。



四国地方

凡例
 COD 0 ~ 3mgO/L 未満
 COD 3 ~ 6mgO/L 未満
 COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

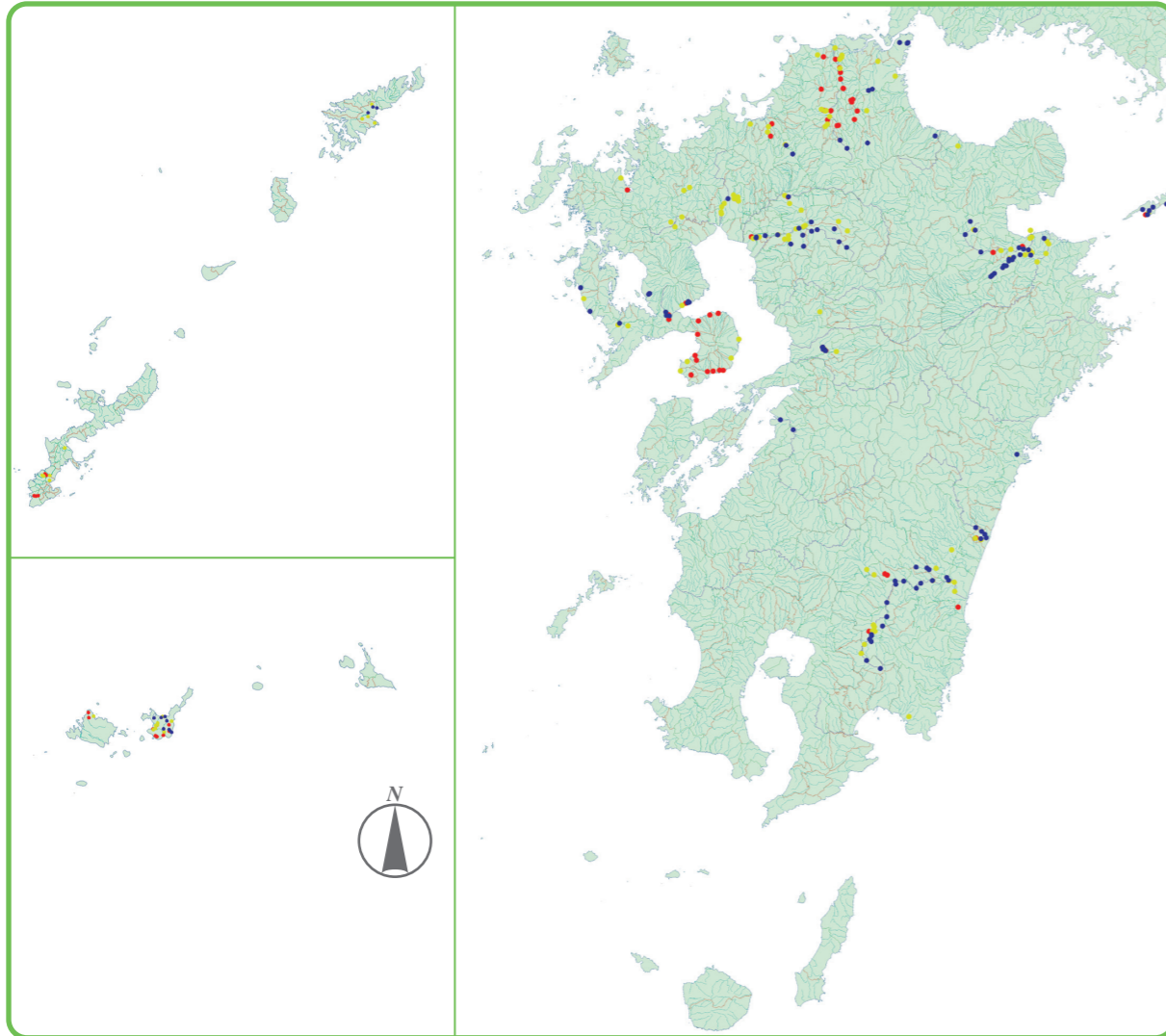
- ・木くず、ペットボトル、タイヤ、冷蔵庫などいろいろなゴミが多い。川の流れはなし。濁っている。
- ・この一帯も中学生が月1回ゴミ拾いをして近隣公園の美化に努めている。
- ・対岸で護岸工事を長期にわたってしている。水量は昔に比べて小。流れは速い。魚が見えないくらい。アユ釣りは今日は誰もいない。
- ・遊びに来る市民も多いが、一頃に比べるとゴミが減ったようだ。サーファーの方がゴミ拾いとかを進めてくれている。



IV 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方

凡例
 COD 0 ~ 3mgO/L 未満
 COD 3 ~ 6mgO/L 未満
 COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- ・約10年前からヒゲナガカワトビケラ（幼虫）が採取されなくなった。
- ・すごい冷たかったです！水がきれいで、うれしいです。このきれいな水が、息子の孫の代にも、その先にも受け継がれるようにしたいです。
- ・昔と比べて水量が少なくなったと思います。シビンタやオイカワなどの魚がいなくなった。少しずつだけど、ホタルが帰ってきている。ここ数年、アユをみかけるようになった。
- ・5、6年前COD8の数値が出て驚いたが、その後また数値が「3~4」になりホッとしていたがそれは雨が降ったせいなのか。今年はまた3回とも8となり見た目がきれいなだけにショック。



V 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

身近な水環境の全国一斉調査が下水道展でパネル紹介されました

全国水環境マップ実行委員会 事務局

身近な水環境の全国一斉調査が下水道展'15東京(7月28日~31日・東京ビックサイト)のNPOブースでパネル展示されました。4日間の来場者数は92,000人を超える盛況ぶりです。その間、事務局から説明員として参加し、来場者への対応をしました。

全国調査の紹介や水質マップ、各地での活動の様子や課題など市民が水環境を調べる重要性が来場者の皆さんに伝えることができました。

また、期間内のイベント「水環境ひろば」として、著名な学識者にわかりやすく水循環に関わる科学知識を紹介してもらい、NPOが子どもたちを含む一般市民と一緒に水循環を学ぶというのを目的に28日~30日までの3日間開催され、日にちによりテーマを変えており、実行委員長の小倉紀雄も29日に「市民と水環境の関わり・身近な水を見る・知る・調べる」と題して本調査についての講演をおこない、そのほか「市民と水環境」というテーマで4つの市民団体による事例発表ののち、総合討論をおこないました。閉会時には小倉紀雄から「市民が主体となり行政と企業が応援し、水環境を考えていくことが大事になる」とまとめがあり盛会に終了しました。

身近な水環境の全国一斉調査

「100年の眼」で調査を継続!!

市民の水質調査からわかること

八王子市の緑川での水質調査結果

調査地点の、ご家庭が少なく、ごみ下水処理場が多い。第1回の2004年と第11回の2014年の調査結果はほぼ同等に入った調査地から発表されています。

緑川に於ける2004年と2014年の水質比較

市民が行う水質調査も続けていけば川の美化はかわります

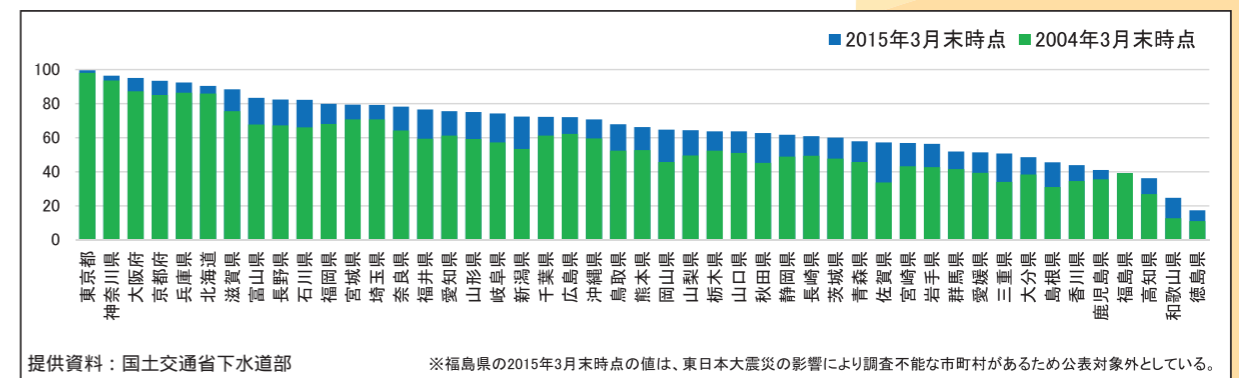
事務局 全国水環境マップ実行委員会
 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-5-15 郵便ビル202
 電話 03-327-3168

展示されたパネル

今後も河川などの水辺や私たちの生活の中にある下水道とも連携をして、より良い水辺を次世代に残すために市民環境科学の実践としての全国一斉調査を続けていきます。



都道府県別 下水道処理人口普及率(%)



活用事例

未来までこのままの佐波川で

水の自遊人しんすいせんたいアカザ隊

事務局 〒747-0001 山口県防府市岩島 1-3-7-2
E-Mail info@sabagawa.com

一級河川佐波川は、山口県防府市を流れる全長56kmの川です。佐波川の流は、洪水のたびに変わり、大きな被害を受ける反面、肥沃な農地をもたらしました。12世紀末俊乗坊重源上人は、東大寺再建のため切り出された大木を運ぶために「関水」とよばれる石で作った堰を118ヶ所設置し、河筋も直線的になり川の流れも安定しました。関水から農業用水が取り入れられることで防府平野を潤しました。

現在の佐波川は、母なる川として、市民に親しまれ市民の集いの場となっています。

私たちアカザ隊は、その佐波川を中心に川活動・防災活動をしています。

一斉調査には、ラジオの番組をきっかけに、出前講座など活動に協力していただいている国土交通省山口河川国道事務所のお誘いで、2006年から参加しています。調査には、地元の川活動団体「佐波川に学ぶ会」も協力してもらっています。実は、この水質調査がアカザ隊の防災活動のきっかけなのです。学ぶ会のみなさんと一緒に調査している時、「佐波川は昔暴れ川じゃったんぞっ。」と教えてもらいました。「暴れ川!？」目の前の佐波川はいつも遊ぶ楽しい川なのに。川ガキの自分たちが「暴れ川佐波川」を知らないのはおかしいと災害についても学び始めました。アカザ隊の一斉調査はたくさんの人に支えられています。

佐波川の水質は調査開始の時からほとんど変わらずきれいです。子どもたちはこのままの川を未来へ渡したいと考えています。

これからも、地域の人との交流も含め一斉調査に参加し続けたいです。



活用事例

全国川ごみネットワークを設立しました

全国川ごみネットワーク事務局
(NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム内)
連絡先 〒東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204
電話 03-3654-7240 e-mail: kawagomi@cleanaid.jp

はじめに

川は私たちの身近なところにあり多くの人々に親しまれています。ところが、私たちの身近な生活と密接にかかわるプラスチック製品などが川へ流れ、川や海の生態系への悪影響が懸念されています。全国の多くの川で、種類や量は異なっていますが、川ごみが問題となっています。街から海へと川を通じて流れ出るごみの課題は、個々の河川の問題だけではなく全国的なものとなります。そこで、川ごみ対策についての全国的なネットワークをつくり、情報共有と課題解決を推進していくことが必要となりました。

2015年8月に、任意団体「全国川ごみネットワーク」を立ち上げ、全国的規模での対策を推進することが動き始めました!

共に手をとって美しい川や海を取り戻すために行動すべき時期がきています。

ごみの発生抑制の啓発を! ~根本解決に向けて~

生態系に悪影響を及ぼすプラスチック系のごみは、破片となり微細化されてもいつまでも分解されることがなく自然界に残り続けます。これらのごみは拾うだけではなくその発生抑制を多くの人に伝えていくことが大切です。全国的な課題となることで、業界団体や製造者、消費者団体などと共にその根本解決に向けての対策を推進していくことが期待されます。

身近な水環境の全国一斉調査との連携への期待 ~活動の拡充に向けて~

身近な水環境の全国一斉調査では、全国の5,000カ所以上の地点で実際に外出して調査を行っています。そこで今後、川ごみネットワークでは、一斉調査と連携し活動の拡充を図れないものかと考えています。調査の際に、実際のごみについても 関心を寄せる / 簡易のごみ調査を行う / 回収するなど、できる範囲で取り組むことができるかもしれません。「~自分たちで調べて、環境保全につなげよう~」という同じ目的のもと、水質とごみの両方を考えることが、環境保全活動の厚みも増すのではないのでしょうか。各地点で無理のない範囲で取り組まれることを期待しています! 多くの団体の皆さまのご理解、ご参加をお願いいたします。

団体概要 = 全国川ごみネットワーク =

- 【目的】 川ごみ問題の解決に向けた情報交換と協働による諸活動を行い、川の環境を保全することを目指します。
- 【活動内容】 シンポジウム、情報交換、啓発・環境教育、連携活動、情報発信など。川ごみサミットを開催します。
- 【会費】 年会費 2,000円以上(団体・個人会員とも)



第1回川ごみサミットの様子

VI 継続調査参加団体

皆勤賞

12年参加(結果提出)団体(合計88団体)

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	埼玉県	環境白門会	東京都	グループひの消遣	福井県	大野の水環境ネットワーク
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	山梨県	Yamanashiみずネット
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	甲府市宝二丁目第三自治会
茨城県	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	東京NPO 21研究所	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	石岡市	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	エコネット町田	山梨県	風間・瀧澤グループ
茨城県	牛久市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	はむら水と緑の会	山梨県	メダカクラブ
茨城県	つくば市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	環境・国際研究会	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	玉川上水ネット	岐阜県	NPO法人長良川環境のつなぎ協会
茨城県	かすみがうら市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	府中かんきょう市民の会	静岡県	三島ゆづい会
茨城県	茨城町家庭排水協議会	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	あおばく・川を楽しむ会	愛知県	庄内川松並木づくり隊
茨城県	小美玉市	東京都	自由学園	東京都	AMR	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	笠間市岩間支所地域課	東京都	明法中学高等学校 科学部	東京都	東京環境工科大学 増穂班	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊稔の郷
茨城県	鉾田市	埼玉県	東川を愛する会	東京都	NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム	京都府	相楽環境委員会
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	東京都	足立区荒川ビシターセンター	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	行方市	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	林・宮島ファミリーズ	岡山県	旭川流域ネットワーク
茨城県	美浦村	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	いたばし野鳥クラブ	山口県	山口市立白石中学校
茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	東京都	北区水辺の会	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会
茨城県	利根町	東京都	谷地川探検隊	東京都	国分寺みずっこクラブ	徳島県	徳島市民環境部環境保全課
埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	神奈川県	東京都市大学 小堀・成研究室	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
埼玉県	環境を考える市民の会・むさし村山	東京都	八王子市東南部環境市民会議	神奈川県	まちアートの会	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
東京都	東久留米ホタルを呼ぶもどす会	東京都	程久保川を考える会	神奈川県	鶴見川・水質チーム	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
埼玉県	新産の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民会議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会

個人の参加者は44名

5年以上の参加団体(今年度参加をした上記以外の団体)							
滋賀県	琵琶湖ネット草津	滋賀県	大津市河川環境団体連合会	大阪府	おおさかびろこブー 大坂まちづくり連絡会	岡山県	フジの木の少年隊 JEC
滋賀県	香町子ども会	滋賀県	瀬川南部の川を美しくする会	大阪府	瀬川南部の川を美しくする会	岡山県	瀬川南部の川を美しくする会
滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会	滋賀県	天神川を美しくする会	大阪府	大和川市民ネットワーク	広島県	芦田川環境マナーネットセンター
滋賀県	鹿沼の里 甲斐流域環境保全協議会	滋賀県	三田川をきれいにする会	大阪府	CFKお魚の会	山口県	水の自衛隊 しんせいけんたい アカザ隊
滋賀県	野洲川を愛する会	滋賀県	津坂の川を愛する会	大阪府	NPO法人大阪府環境協議会	山口県	瀬川公民館
滋賀県	茶釜川を美しくする会	滋賀県	多摩川を愛する会	大阪府	清水1東町会	徳島県	大松川クラブ
滋賀県	イワナランドとびつり会	滋賀県	盛越川上流を美しくする会	大阪府	豊中少小中学校おやしりの会	徳島県	水土里ネット 芳崎
滋賀県	海海だかの学校	滋賀県	相模川を美しくする会	大阪府	アライブ城北山実行委員会	徳島県	吉野川がたの会と徳島市環境リーダーグループ
滋賀県	ワイワイあひるクラブ	滋賀県	長浜市びわ水環境を守る生活推進協議会	兵庫県	日本武道玉台道場スポーツ少年団 JEC	徳島県	年和・美しい川づくり推進協議会
滋賀県	水口エコライフの会	滋賀県	長浜市水生生物少年少女調査隊	兵庫県	青根 地もみふかいの里 友の会	徳島県	藤田ライオンズクラブ
滋賀県	信楽の川自然環境の会	滋賀県	長浜市立長浜小学校	兵庫県	水環境ネット出石	徳島県	まんの町球場
滋賀県	甲南高校 バイオとかがく系列	滋賀県	長浜市立七尾小学校	兵庫県	NPO法人北は田園空間博物館	徳島県	土師川生物研究会
滋賀県	甲南ボランティアグループ	滋賀県	長浜北小学校	兵庫県	六方めだか公園	徳島県	NPO法人かわつて復活プロジェクト
滋賀県	甲賀女性風土づくりグループ	滋賀県	長浜南小学校	兵庫県	武庫川づくりと流域環境を高める会	徳島県	サンシャイン西条自治会 衛生部
滋賀県	滋賀県企業水口浄水場	滋賀県	長浜市ひび小学校	兵庫県	エコビバさやま	徳島県	バソニックヘルスケア労働組合
滋賀県	東近江環境保全ネットワーク	滋賀県	長浜市ひび南小学校	兵庫県	徳水すずきねんクラブ	高知県	ごみぬい 徳島川をつくる連絡会
滋賀県	八幡町を守る会	滋賀県	長浜市立田原小学校	兵庫県	白旗中学校・高等学校 生物部	高知県	土佐山田町婦人会
滋賀県	東近江水環境自治協議会	滋賀県	長浜市立伊豆川小学校	兵庫県	特定非営利活動法人 関西環境とケアをすすめる会	高知県	公益財団法人四万十川財団
滋賀県	環境フォーラム湘東	滋賀県	余呉小学校 サイエンスクラブ	和歌山県	和歌山県高川町水環境協議会	高知県	NPO法人YASU海の駅クラブ
滋賀県	彦根市環境保全推進協議会	滋賀県	長浜市立塩津小学校	和歌山県	徳島市工芸工業協同組合	高知県	徳島川下流の農を育てる会
滋賀県	徳島のまちエコライフ	滋賀県	淡海ネットワークセンター	鳥取県	米子水島公園友の会Jr. レンジャークラブ	高知県	徳島山自然の森博物館友の会
滋賀県	徳島と徳島づくりグループ	滋賀県	BVOSクリーンネットワーク	鳥取県	たんごエコワックス	福岡県	水の会
滋賀県	大宮川を美しくする会	滋賀県	ボイスカウト犬上第1団	鳥取県	NPO法人アングラ21	福岡県	筑川キッズ探検隊
滋賀県	日野川を見守る会	京都府	木津川市こどもエコクラブ JEC	岡山県	児島川流域エコウェブ	福岡県	八女水の会
滋賀県	人と自然を守る会	京都府	京都府立緑部高等学校 分析化学部	岡山県	せとよエコクラブ JEC	福岡県	瀬川再生の会・五平太
滋賀県	滋賀大学環境学習支援士の会	大阪府	アキラフランス	岡山県	エコライフたかし	福岡県	川を語る会

VII

全国水環境マップ 実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏名	役割	団体名	都道府県	T E L	E-mail
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	np-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe0133@t-net.ne.jp
大野 和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	y.fujii@guitar.ocn.ne.jp
倉 宗司	実行委員	身近な川の一斉調査実行委員会	東京都	042-562-8863	sakkoganeikura@yahoo.co.jp
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
佐藤 正兵	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinow@po2.lcv.ne.jp
長尾 是史	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊稔の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyouunosato@lake-biwa.net
山崎 久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
藤岡 博	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
竹原 和夫	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1181-1090	okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宣宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	090-7578-6172	ngckk745@ybb.ne.jp
杉尾 哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-78-2655	info@oyodo-river.org
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	070-5270-1847	ryukyuyauono@gmail.com

委員は、平成27年10月1日現在

事務局

氏名
高橋 克彦
菅谷 輝美
本間 君枝
佐山 公一

オブザーバー

氏名
小堀 洋美
成 泳植
武田 淳史
千葉 亮輔
加藤 裕之
橋本 翼
吉野 英夫
岡内 完治
岡内俊太郎
伊藤 史朗
星野 順子



身近な水環境を調べよう！

第13回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2016年6月5日(日)を統一調査日として、第13回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしくお願
いいたします。

小倉 紀雄 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全局のホームページ(http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/research/index.html)で公表されています。

実施日 2016年6月5日(日) 世界環境デー(環境の日)の全国統一日を基本的に推奨。

測定項目 気温、水温、COD、その他

測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(1)

参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、2016年3月10日(木)までにご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

1 調査キットは、参加申込者に2016年5月頃に配布予定です。

問合せ先

全国水環境マップ実行委員会 事務局

みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約6,000~7,000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。

誰でも、どこでもできる 水質の簡易分析製品

河川・湖沼のモニタリングに！

COD, アンモニウム, 亜硝酸, 硝酸, りん酸,
溶存酸素, 透視度 など



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

<http://kyoritsu-lab.co.jp> バックテスト 検索
kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp TEL:03-3721-9207
〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11 FAX:03-3721-0666

全国一斉調査 お申し込み先

FAX: 042-327-3169 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第13回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 身近な水 検索

2016年3月10日(木)までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

過去の参加あり 初めて

参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など) 住所、電話、FAX、E-mail (特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可)

住所:〒

電話

FAX

E-mail

調査予定地点名 河川名など 例) 県 川、××用水路、池。

河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒に提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

はい

いいえ

調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

6月5日に実施する

6月5日に実施できない【その場合の予定 月 日】

調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

今後の連絡手段

今後のご連絡についてはEメールを中心にさせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

FAX

郵便物など

電話

参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。